



広報

ちよかわ

村の情報をみなさんの手に

Public Relations of CHIYOKAWA

12

2005
No.395

CONTENTS

- 2 閉村にあたって
- 4 新「下妻市役所」の庁舎案内
- 6 51年間ありがとう千代川村
- 10 地震発生！そのとき、あなたはごしますか…
- 12 第19回 ふれあいまつり
- 14 お知らせします
村職員の給与と職員数等の状況
- 15 国民健康保険被保険者証・老人医療受給者証・減額認定証・医療福祉費受給者証が切り替え（交換）になります！
- 16 村長からの手紙
- 17 歴史再発見
- 18 みんなの広場
- 23 さわやかリレー
- 24 わたしの健康法・豆知識
- 25 広報 文芸
- 26 1月の救急医療のお知らせ
- 27 ほっとランド・きぬのお知らせ
- 28 しあわせクッキング

表紙の写真



この写真は、ふれあいまつりの特設ステージの発表会の一コマです。

園児たちが、この日のために隣のお友だちと一生懸命に踊っている姿が、とても微笑ましく、また、新市にむけて、はばたく子どもたちにカメラをむけました。

閉村にあたって



千代川村長

稲葉 本治

平成17年12月24日閉村式を行い、平成18年1月1日をもってついに千代川村も下妻市となります。歴史をひも解くこと51年前、大形村・宗道村・蚕飼村・旧玉村の一部原・羽子地区を含めた昭和の大合併で千代川村が誕生しました。

歴史は、繰り返されるといいますが、少なくとも住民のみなさまは45年前現実的にこのように、急激に合併がなされようとは思わなかったのではないでようか。変革の時代と言われますが、まさしくそのとおりで、町村の数は全国で

約1000となり、6割もの町村が減少し、茨城県でも約半数の自治体がなくなり44市町村となります。千代川村においても、たくさんの方々が二度の合併経験を重ね、自治体としての経営基盤を万全なものとし、後世の人たちにバトンタッチをしていくのが我々合併を推進した者としての責務だと考えております。

振り返って見ますれば、永瀬安衛氏・鈴木周三氏・鈴木正行氏・永瀬純一氏と歴代の村長さんに執行されて来た我が千代川村は、教育に熱心な村として、評判

も高く、また、文化施設活動レベルも村としては、大変先進的地域となりました。先人のお陰で、農村部と都市部の良さを程良く取り入れたバランスのいい千代川村となり行政をあずかる者として大変恵まれた環境を創っていただきました。

た役場周辺が激的に変化した事を見るとき、日々気付かないことでも、歴史は必ず変化するということを実感させられます。18年1月1日新市「下妻市」の誕生と千代川地区の益々の発展を祈りあいさつとさせていただきます。

何よりも私は、多少のさざなみはあっても、昭和の大合併後今日まで大きな争いことも無く、穏やかな村として来られたことに對し、歴代の村長さんはじめ関係者のみなさんに感謝しなければいけないと思います。わずかに30年前、何も無かつ



千代川村議会議長

池田 博

落ち葉が舞い西風が身にしみる季節となりました。村民のみなさまにはお元気で活躍のことと存じます。村民のみなさんと共に大事に守り育ててきました『千代川村』も、いよいよ明年1月1日には『新下妻市』として、新しい旅立ちを迎えようとしています。

昭和の合併を思い起せば、私は20歳でした。昭和29年1月、玉村の原・羽子地区が分村し宗道村に編入され、昭和30年1月1日には、宗道・大形・蚕飼の三カ村が合併、故人が詠んだ句に、樋びらきや豊田郡の千代の水の千代に清流、鬼怒小貝両河川の川を加え、千代

川村が誕生しました。以来50年余という歳月を経て、今、平成の大合併という大きな変革期のなかで、大きな試練決断の時、村民のみなさまの暖かいご理解のもと、下妻市との合併に至りました。

うではありませんか。希望に満ちた『新下妻市』の新しい門出を、心から祝い、そして、育てていこうではありませんか。私たち議会もみなさまとともに、新しいまち『新下妻市』の着実な発展に誠心誠意取り組みたいと心新たにしているところでもあります。

今まで千代川村議会には貴重なご意見等賜ってまいりましたが、これからも引き続きいてのご支援をお願い申し上げます。村民のみなさまに取りまして輝かしい新春となりますようご祈念申し上げます。



平成18年1月1日
新「下妻市」が誕生します

新 下妻市役所 の庁舎案内

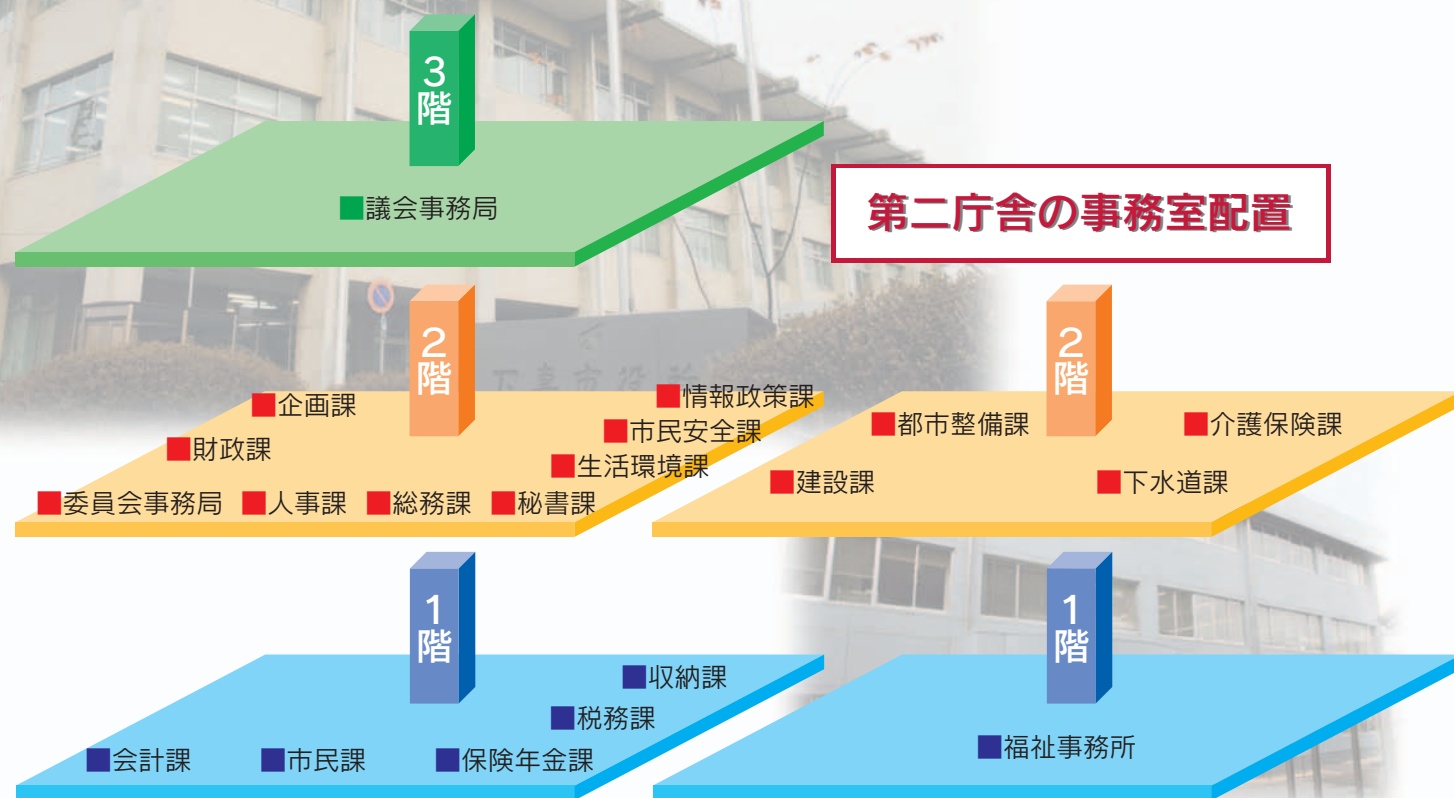
広報ちよかわ11月号で新“下妻市”の組織・機構についてお知らせしましたが、今月号では、新“下妻市役所”（本庁舎・第二庁舎・千代川庁舎）の事務室配置・電話番号等についてお知らせします。

村民のみなさまには大変ご不便をおかけしますが、ご理解をお願いします。

なお、合併に伴う必要となる手続き・業務案内・公共施設案内等の詳しい内容については、合併に伴う行政サービスのご案内“くらしのガイド”（広報ちよかわと同日発行）でご覧になれます。

新下妻市役所の庁舎案内

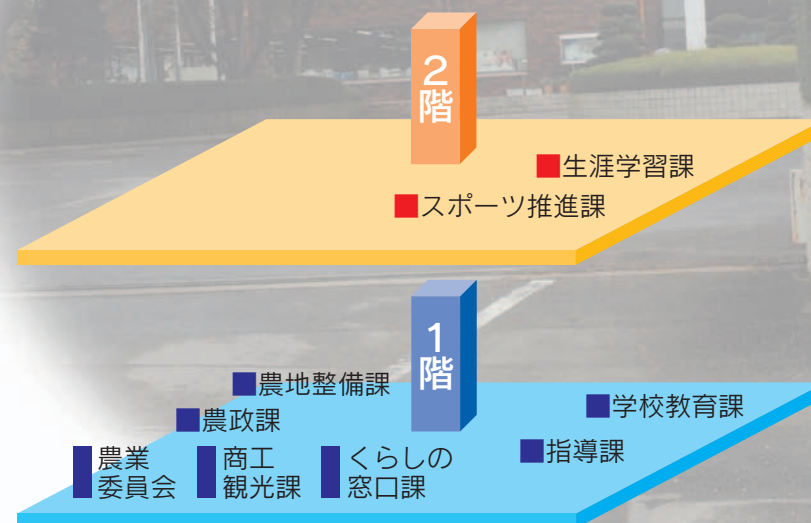
本庁舎の事務室配置



第二庁舎の事務室配置

事務室の配置が決まりました

千代川庁舎の事務室配置



●くらしの窓口課

くらしの窓口課では、市民課・保険年金課・税務課・福祉事務所・介護保険課に係る窓口業務（各種申請・届出）を行います。

— 18年1月4日から
一部取り扱いのできない業務がありますので、
ご確認ください。

窓口業務について

■くらしの窓口課業務

千代川庁舎の“くらしの窓口課”では、村民のみなさまの利便性を図るために、以下のとおり各関係業務の届出や証明書等の交付が受けられます。（詳細はくらしの窓口課にお問い合わせください）

関係業務	くらしの窓口課業務
市民課 関係業務	○戸籍の届出（出生届、婚姻届、死亡届等） ○印鑑登録・印鑑登録証明書の交付 ○住民基本台帳の閲覧 ○自動車臨時運行許可（仮ナンバー）事務 ※戸籍記載事務、外国人登録に関する業務は本庁舎市民課で取り扱います。 ○住民登録の届出（転入、転出、転居） ○各種証明書の交付（住民票、戸籍謄抄本等） ○埋火葬許可証、改葬許可証の交付 ○外国人登録原票記載事項証明書の交付
保険年金課 関係業務	○国民健康保険、国民年金、老人保健、医療福祉（マル福）に係る各種申請・届出 ○出産育児一時金、葬祭費の申請 ※国民健康保険のうち人間ドックの申し込みは本庁舎保険年金課で取り扱います。 ※国民健康保険のうち短期保険証の交付で納税相談が必要な場合は本庁舎保険年金課で取り扱います。 ※国民年金のうち障害基礎年金・老齢基礎年金・遺族基礎年金・寡婦年金の裁定請求、年金相談は本庁舎保険年金課で取り扱います。
税務課 関係業務	○原動機付自転車等の標識交付・廃車手続き ○税関係の諸証明（課税・納税・所得証明書） ※税関係の諸証明のうち土地家屋現況・家屋滅失・専用住宅証明、申告書・土地家屋名寄帳の写し等は本庁舎税務課で取り扱います。
福祉事務所 関係業務	○児童手当に係る各種届出（出生、転入、転出、死亡）
介護保険課 関係業務	○要介護の資格記録管理（転入、転出、死亡） ○要介護（要支援）の認定申請（新規、更新の申請、要介護の区分変更、申請取り下げ）

庁舎の引越しを 行います

千代川村と下妻市の合併に伴い、12月28日は通常業務を行いながら、また、翌29日から1月3日は、休日窓口業務を行いながら庁舎の引越を行う予定です。
ご不便・ご迷惑をおかけしますがご理解をお願いします。

市役所の電話番号は 43-2111（代表）

千代川村と下妻市の合併に伴い、千代川村の代表番号（43-5111）と各課の直通番号が廃止され、下妻市の代表番号と同じ43-2111になる予定です。
これに伴う電話工事の期間中（12月29日から1月3日）は、一部施設で電話が不通となる場合があります。
ご不便・ご迷惑をおかけしますがご理解をお願いします。

51年間 ありがとう千代川村

わ たしたちの千代川村は、昭和30年1月1日に宗道村・大形村・蚕飼村の3カ村の合併により誕生しました。以来、今日までの51年間「住みよい村づくりは、自分たちの手で」と、住民みんなが手を携えてさまざまな事業を展開してきましたが、来年1月1日の下妻市との合併に伴い、千代川村“は幕を閉じることになります。村民のみなさんとともに村の歴史を綴ってきた広報「ちよかわ」も、今月号（第395号）が最終号となりました。長い間ご愛読いただいたみなさん、快く取材に応じてくださったみなさんに心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。ここでもう一度、千代川村誕生から51年間の歩みを広報紙面を交えてご紹介してまいります。わたしたちを育んでくれた千代川村に感謝の意を込めて、思い出のあの日・あの時をみなさんとともに振り返ってみたいと思います。また、閉村式に寄せてのメッセージをいただいていますのでご紹介します。



昭和30年合併時の千代川村役場



昭和30年1月1日発行 千代川村報第1号



昭和53年1月5日発行
千代川村報 第86号

千代川村役場庁舎建設工事着工する 総工費4億2,500万円



昭和37年7月30日発行
千代川村報 第25号

ヘリコプターによる空中防除開始 面積は494.8ha



昭和37年1月5日発行
千代川村報 第23号

この年千代川中学校が3ヵ年間で、鉄筋コンクリート造り3階建の県下に誇る校舎が完成



平成5年11月10日発行
広報「ちよかわ」11月号

防災環境の整備と文化的で活力ある地域づくりを目指して“そよかせ通信”が開始



昭和62年3月10日発行
広報「ちよかわ」3月号

村営水道事業通水開始 宗道・原・羽子地区へ



昭和57年3月10日発行
広報「ちよかわ」3月号

千代川村報から広報「ちよかわ」に変更 姿を消す宗道の大櫓と大宗橋 櫓は3月中旬、橋は5月ごろ取り壊される予定

千代川村51年のあゆみ

昭和30年1月	三カ村合併により千代川村誕生 初代村長に永瀬安衛氏就任 宗道小学校プール完成 (梁小元次氏寄贈)
31年8月	千代川保育所完成
33年9月	千代川中学校創設(中学校統合)
34年6月	千代川村で全国初の空中散布
35年3月	千代川中学校完成
36年4月	村消防団機構改革 (団員数477名)
40年4月	母子センター開設
43年3月	千代川中学校体育館完成
44年2月	千代川村第二保育所完成
45年3月	愛国橋架け替え工事竣工 学校給食開始 (石下・千代川小学校給食組合)
46年3月	蚕飼小学校完成
47年9月	千代川村第三保育所完成
49年3月	大形小学校体育館完成
50年2月	村長に鈴木周三氏就任(二代目)
52年3月	農業就業改善センター完成
53年10月	村長に鈴木正行氏就任(三代目)
55年4月	千代川村役場新庁舎完成 ちよかわ幼稚園完成
56年3月	大形小学校完成
57年4月	村長に永瀬純一氏就任(四代目) 村営水道事業開始
58年7月	大宗橋とり壊される
59年3月	宗道小学校完成
60年3月	千代川村民体育館・柔剣道場完成
61年7月	千代川村合併30周年記念式典
62年3月	科学万博つくば'85開幕
66年9月	千代川村の日(26日)
67年8月	中央公民館完成
68年3月	台風10号猛威を振るう(小貝川大洪水)
69年3月	村営水道一部給水開始
70年3月	第一回ふれあいまつり開催
71年3月	野菜集出荷所(別府地内)完成
72年7月	ごみ減量のための「分別収集」開始
73年5月	第一回花とふれあいまつり開催
74年6月	総合運動公園完成
75年10月	第一回村民運動会開催
76年3月	グリーンフェア'93いばらき開催
77年5月	千代川村の日(5月15日)
78年11月	大形橋開通式
79年4月	福祉センター(シルピア)オープン
80年8月	第一回鬼怒川流域交流Eポート大会開催
81年5月	千代川中学校新校舎完成
82年4月	介護保険制度開始
83年6月	ほつとランド・きぬ完成
84年11月	第一回地域防災訓練開催
85年8月	村長に稲葉本治氏就任(五代目)
86年8月	全国Eポート大会in鬼怒川開催
87年1月	下妻市・千代川村合併協議会設立
88年3月	合併協定書の調印
89年7月	総務省告示
90年12月	千代川村閉村式
18年1月	千代川村・下妻市合併新下妻市“誕生”

千代川村への思い メッセージ



周りには、市・町がひしめくなか、千代川村は村として、市町に負けないくらい、立派な看板を背負ってきました。僕達が育ったこの村は、温かな宝物であり、和みのある大切な故郷でありました。

狭い地域のなかに、大きな心を持った人々がいて、何もない場所に多くの安らぎがありました。それは、全部千代川村という偉大な親が育ててくれたものだと思います。千代川村が無くなっても、千代川村は、千代川村民の胸に生き続けます。



斎藤 学さん
(村岡)

千代川村は和みのある大切な故郷です



安田 加奈さん
(鯨)

千代川村で培われた伝統を胸に

今、私たちが通う千代川中学校も昔は鬼怒川が流れ、東京などからの船便が出入りしていたところだったと聞きますが、私には想像もできません。その後、大形村、蚕飼村、宗道村の三村が合併して千代川村が誕生し、川底だった所にも五十年ほどの間に、村の庁舎や公民館、福祉センター、運動公園、幼稚園、そして千代川中学校ができ、村の中心となって大きく発展しました。

私たちもその千代川中学校に入学し、部活動や勉強で頑張り、中学校生活に励んできました。そんな思い出多い千代川中学校も平成18年1月1日から下妻市立になるうとしています。

下妻市立になっても千代川村に住んでいる者として、



飯岡 孜さん
(大園木)

千代川村よ、ありがとう
ふるさととは人と共に

千代川村で培われた伝統をこれからも大切にし、新しい「千代川地区」を目指して学んでいこうと思います。

生まれた時は「蚕飼村」だった。里を離れ大学生活中に「千代川村」となった。教職に就いて2年目に、大形小学校に赴任できた。まだ千代川中学校大形教場があつて、運動会は小中合同で開催した。2年目には、その教場に小学校が移転した。両校庭の老木桜と若木桜の花が咲き誇っていたのを想い出す。千代川村40周年の節目の時に宗道小学校に勤め定年を迎えた。人生70年。環境は変わり人の移ろいもあつたが、地の温み、川の流れは変わらない。ふるさととは人と共に更にはばたく。



柴 美智子さん
(宗道)

心のふるさととは
未来を支える原動力

二つの川に雄大な筑波山の絶景。今になり父がこの千代川を選び移り住んだ意味を感じる事が多い。恵まれた自然の息づかいが折々に勇気を与え、また泣けることを教えてくれる。安心というかけがえのない安らいだ幸せと、だからこそ頼れないという強さを、目に見えぬすごい力が私を支え、導き続ける。守られ、守る人がいつの間にか私の周りに溢れている。お陰様で。そんな私の心のふるさと千代川。ほのぼのこの響きを心にしたためながら守つてゆく。

迎える改革の新风に心地よい刺激を受けながらも、育てられたふるさとのかおり漂う妻と母でありたいと願う。

ありがとう ちよかわ…



平成17年9月10日発行
広報「ちよかわ」9月号

広報紙オールカラーとなって表紙はEボート大会表紙を飾る
平成16年度は、北関東で初めてのEボート全国大会を開催し、白熱したボートレースが展開された



平成14年4月10日発行
広報「ちよかわ」4月号

表紙・裏紙 2ページ4色刷りになり千代川中学校の卒業式表紙を飾る



平成11年5月10日発行
広報「ちよかわ」5月号

千代川中学校新校舎完成
新中学校で350名の生徒が新学期を迎える



昭和34年
全国初の農薬空中散布



昭和34年
移転した千代川村役場



昭和34年頃
宗道小プールでの授業



昭和57年3月伐採
宗道神社の大けやき



昭和35年
千代川中学校舎完成



平成16年
第8回全国Eボート大会in鬼怒川



昭和61年
台風10号による小貝川洪水



昭和53年
役場新庁舎完成

地震発生！

そのとき あなたは どうしますか…

蚕飼小学校で地域防災訓練を実施

今年の8月16日、宮城県沖で発生したマグニチュード7・2の地震。宮城県内で震度6弱を観測し、たくさんの方の負傷者が出たことや道路が寸断され、パニック状態に陥ったことなど、マスメディアをおして私たちの記憶に鮮明に刻まれていると思います。千代川村においても、震度4を観測しましたが、大きな被害はありませんでした。

「災害は、忘れた頃にやってくる」と言われていますが、日ごろの備えが大切です。本村でも、地区ごとに毎年防災訓練を行っています。今年は蚕飼地区を対象に第4回地域防災訓練が行われました。

地震発生に備えて 地域防災訓練

11月13日午前8時、南関東を震源とする直下型の大地震が発生。当地域において震度6を記録した“状況は、家屋が倒壊したり、傾いたり、多数の負傷者が出

て予想以上に被害を受け、これ以上自宅にとどまることが危険となり、住民は避難の必要がある。という想定で、蚕飼小学校グラウンドにおいて関係者を含め471人が参加。レスキュー隊による救出救助訓練やバケツリレーでの初期消火訓練等さまざまな訓練に参加し、本番さながらの訓練に真剣に取り組みました。

地震が発生したとき、あなたは どうしますか。いざという時、自分が何をすべきか、何を準備しておくべきか日頃から地域や家庭で話し合っておきましょう。

地震が起こる前に

○非常持ち出し品の準備
飲料水、非常食品（家族3日分）
救急医療薬品類
携帯ラジオ、懐中電灯、乾電池
現金 貴重品
衣類

○わが家で防災会議
家族みんなで話し合い、共通認識を図りましょう。
家の中で安全な場所はどこか
応急手当の知識を身につける



バケツリレーによる消火訓練



参加者全員に配られた非常持出袋



- ・避難場所、避難経路の確認
- ・万が一のときの家族との連絡方法
- ・集合場所の確認等
- 地域の防災活動に参加しましょう

地震が発生したら、まず自分の身をしっかりと守りましょう。その後、周りの状況を確認しましょう。

○近所で協力して助け合いを

・初期消火活動
火事を拡大させないためには、初期消火が肝心です。火事を発見したら、大声で近所に声をかけ、みんなで初期消火に協力しましょう。



粉末消火器による初期消火訓練

救出救護活動

建物の倒壊や落下物の下敷きになった人を発見したら、地域のみなさんで声を掛けあい、救出活動に取り組みましょう。

・お年寄りや体の不自由な方への援助

お年寄りや体の不自由な方がどこに住んでいるか把握しておきましょう。ふだんから孤立させないことが大切です。

“備えあれば憂いなし”という格言どおり普段からの準備が、最も重要です。みなさんも是非、この機会に“備え”をしておきましょう。



ちよかわ幼稚園“幼年消防クラブ”の放水訓練



訓練用水消火器を使つての消火



建物屋上より緊急脱出！



“建物屋上に逃げ遅れた人がある！”下妻消防署はしご車隊による救出救助訓練



ありがとう 千代川村

第19回

ふれあいまつり



下 妻市との合併を控える千代川村としては最後となる「第19回ふれあいまつり」が、秋晴れのもと11月3日をメインに緑地公園・中央公民館を会場に開催され、家族連れなど約8千人の来場者で賑わいました。

これに先立ち10月22日から行われた中央公民館での作品展示では、小中学生や公民館講座受講生、クラブ・愛好会等一般出展のみなさんの力作が、訪れる人々の目を楽しませてくれました。まつり本番の11月3日には、公民館ホールで児童生徒の音楽発表やコーラス・フラダンス・文化

はやし連の和太鼓やゆきじ会のみなさんによる三味線の演奏が花を添えてくれました。一方、緑地公園会場では食育をテーマにした健康まつりでのデコレーション寿司の試食コーナー、産業まつりでの農水産物や豚汁の販売コーナーが人気を呼び大盛況でした。会場南側に設けられた茶会の席には、なれないしぐさで作法の手ほどきを受けているほほえましい光景も見られました。また、特設の屋外ステージでは、保育所児童・幼稚園児の歌や遊戯、ダンスや郷土芸能が行われた後、常総学院高等学校吹奏楽部73名のみなさんが全国大会金賞受賞の実力を発揮したすばらしい演奏を披露してくれました。リズムミカルな

曲の演奏中には、全身で調子を取り始め、ついにはステージに上がって踊りだす中学生も現れるなど、和やかな雰囲気の中での演奏会となりました。そして、最後に来場者・スタッフ全員で千代川音頭を踊り、半世紀にわたり私たちを育んでくれた「千代川村」に感謝の気持ちを込めたふれあいまつりの閉幕となりました。

千代川村最後にふさわしいふれあいまつりが、盛大に開催することができましたことは、ご来場くださったみなさま・スタッフ関係者のみなさまのご協力に感謝申し上げます。それでは、写真で会場の様子ををご紹介します。

素敵な歌声を披露！



お友だちとの会話がはずみます



ステージで音楽に合わせて...



保育所のみなさん お遊戯披露



南国ムードでフラダンス



常総学院高等学校吹奏楽部のみなさん

お知らせします

人件費の状況（平成16年度普通会計決算）

区 分	住民基本台帳人口 平成17年3月31日現在	歳出額 A	人件費額 B	人件費率 B/A	(参考)15年度 の人件費率
平成16年度	9,455人	3,797,660千円	871,500千円	22.9%	23.4%

* 人件費には、特別職に支給される給料、報酬等を含みます。

職員の初任給の状況

職員の平均給料月額

（平成17年4月1日現在・一般行政職）（平成17年4月1日現在・一般行政職）

区 分	村	国	区 分	村	国
大学卒	2級2号級 170,700円	170,700円	平均給料月額	331,591円	329,728円
高校卒	1級3号級 138,800円	138,800円	平均年齢	41.7歳	40.3歳

職員手当の状況

区 分	村	国の制度との差異
扶養手当	配偶者 13,000円 扶養2人まで 各6,000円 扶養3人目から 各5,000円	国と同じ
住居手当	借家の場合(家賃12,000円を超える場合に限る) 家賃の額に応じて27,000円を限度に支給 自宅の場合 新築・購入後5年間は、2,500円	国と同じ
通勤手当	自動車等利用者 2 km未満 -円 2 km以上 ~ 5 km未満 2,000円 5 km以上 ~ 10 km未満 4,100円 10 km以上 ~ 15 km未満 6,500円 15 km以上 ~ 20 km未満 8,900円 20 km以上 ~ 25 km未満 11,300円 25 km以上 ~ 30 km未満 13,700円 30 km以上 ~ 35 km未満 16,100円 35 km以上 ~ 40 km未満 18,500円 40 km以上 ~ 45 km未満 20,900円 45 km以上 ~ 50 km未満 21,800円 50 km以上 ~ 55 km未満 22,700円 55 km以上 ~ 60 km未満 23,600円 60 km以上 24,500円	国と同じ

職員の給与や定員は、国や他の地方公共団体などの均衡を考慮して、議会の審議を経て条例で定められています。この職員給与、職員数の状況について、住民のみなさまの一層のご理解をいただけるように、そのあらましをお知らせします。

村職員の給与と職員数等の状況

区 分	村	国の制度との差異
17年度	期末手当 勤勉手当	期末手当 勤勉手当
6月期	1.4月 0.7月	
12月期	1.6月 0.75月	国と同じ
計	3.0月 1.45月	

* 職務の級に応じて、5～15%(国においては5～20%)の加算措置があります。



特別職等の給与・報酬・期末手当

区 分	金 額	区 分	支給基準	備 考
給 料	村 長 800,000円 助 役 603,000円 収入役 572,000円 教育長 572,000円	期末手当	6月期 1.6月 12月期 1.75月	* 職務上の加算 措置あり 15%
報 酬	議 長 332,000円 副議長 291,000円 議 員 275,000円			

* 常勤特別職の手当は、他に通勤手当(一般職と同じ)があります。

職員定員の状況

部門	区分	職員数(人)			対前年増減(人)		
		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
一般行政部門		79	81	80	0	2	-1
特別行政部門		18	17	18	3	-1	1
公営企業会計部門		13	12	12	-1	-1	0
合 計		110	110	110	2	0	0

* 村では、事務事業の見直し、機構改革、OA化等を推進し、職員の新規採用を必要最小限にとどめる努力をしながら、簡素で効率的な行政運営を目指しています。

お知らせします



みなさんもお存知のとおり平成18年1月1日千代川村と下妻市が合併になり「新下妻市」となります。みなさんが現在お持ちの国民健康保険被保険者証・老人医療受給者証・減額認定証・医療福祉費受給者証が平成17年12月31日で使用できなくなります。

これに伴い新しい保険者証・受給者証・認定書の交付をしますので、現在お持ちの保険者証等の回収を下記のとおり行います。

国民健康保険被保険者証・老人医療受給者証・減額認定証・医療福祉費受給者証が切り替え(交換)になります！

交換日時

12月24日(土)	午 前	大園木、鯨、見田、唐崎、長萱、伊古立、田下、下栗
	午 後	本宗道、鬼怒、鎌庭
12月25日(日)	午 前	宗道、渋田、原、羽子
	午 後	別府、皆葉、五箇、村岡

※2日間とも午前は9時から12時、午後は1時から4時まで行います。

場 所 千代川村役場 1階 ホール

持参するもの

国民健康保険被保険者証 交換の方	・印 鑑 ・国民健康保険被保険者証
老人医療受給者証交換の方	・老人医療受給者証 ・健康保険証 ・通知書(ハガキ)
減額認定証交付の方 (該当者の方には、個別に通知します)	・印 鑑 ・健康保険証 ・老人医療受給者証または健康保険高齢者受給者証 ・現在交付されている場合はその減額認定証 ・申請日現在で過去1年間90日以上入院された方は入院医療機関の領収書(申請により入院時の食事代がさらに減額になることがあります)
医療福祉費受給者証 (乳幼児・妊産婦・母子父子身体障害者)交換の方	・医療福祉費受給者証 ・通知書(ハガキ)

※ 高齢受給者証については、国民健康保険被保険者証交換時に新しい受給者証を交付します。(旧受給証の回収はしません)

そ の 他

介護保険被保険者証について

- ・要介護認定を受けている方
12月中に新しい被保険者証を郵送で交付します。
- ・要介護認定を受けていない方
現在お持ちの被保険者証を平成18年3月31日まで有効としますので、そのまま保管してください。

●問い合わせ●

住民課 ☎ 44-0173(直通)
福祉課 ☎ 44-0174(直通)

村長からの手紙



平成18年1月1日、来るべき合併がついに目前となりました。伝統ある千代川村も下妻市となります。寂しき、不安、期待色々な心情が今、私の胸を去来しております。今から約2年4ヵ月前、すでに4市町村合併を前提に村長職とさせて頂きましたが、みなさんご承知のように最終的には、一市一村の合併、下妻市となった訳であります。幾多の紆余曲折がありました、村民の深いご理解のお陰で、この合併が穏やかに進められました事に深い感謝をしなければいけないと思っております。財政力、人口力等が充分にあれば単独で生きてゆくのもひとつの選択肢として有り得ると思いますが、現在の千代川村には、それをクリアするにはあまりにも厳しい条件でありました。

この合併も変革の時代に生きる、我々の責務ととらえ、子孫、将来のため、真剣に取り組んで参った訳であります。村長として、合併の為の仕事と、合併前に千代川村としてやるべく仕事との両輪でこの2年4ヵ月頑張ってきたつもりであります。議員さん、区長さん、各種団体、住民のみなさん、そして職員のみなさんの温かいご協力のもと、自分なりの選挙公約（マニフェスト）の実現と地域住民参加型の「協働」の地域づくりに取り組んで参りました。幸い健康にも恵まれ、1日も休むことなく、尚且つ、それほど難問もなく、職務に精励出来ましたのも、村民のみなさま

のお陰と感謝しております。

短い村長職ではありましたが、住民の融和と住みたいまちづくりを目指し、整備で言うと、公民館裏レストハウス、緑地公園、宗道駅舎と周辺整備、つくば・古河線別府交差点、大形小耐震工事、地域間格差解消のため各集落の道路、下水、排水整備、外路灯設置、村岡、五箇、皆葉等、集落センターの新築またはリフォーム、住民の活力や楽しみのため、全国Eポート大会をはじめ、数々のイベントや祭り、将来新市の玄関口として「やすらぎの里」の計画、着工とその他にもたくさん仕事をさせて頂きました。

地域のみなさまとしては、まだまだやって欲しかった事は、たくさんあったと思われませんが、私に与えられた時間と予算のなかでは、精一杯やらせていただいたと思っております。これから、新市に引継ぐべき事項として、目の届かなかった所の整備や法定協議会で決められた案件等が確実に履行出来るよう、議員のみなさんと手を携えて頑張ります。

千代川村長として、在任期間中、みなさまからの温かいご支援、ご協力本当にありがとうございました。改めて、御礼を申し上げます。これをもちまして、村長からの手紙も最後とさせて頂きたいと思います。

福永本治

歴史

再発見7

郡役所があつた時代

千代川村が誕生する前の明治11年、郡制の施行にともない、豊田郡・岡田郡・結城郡の郡役所が本宗道坂下に設置されました。当時村内には江戸時代からつづいた村々が18ありました。鬼怒川以東の村は豊田郡に、以西の村は岡田郡に属しました。明治22年に「明治の大合併」が進み、村域には大形村、宗道村、蚕飼村そして玉村（一部）が誕生します。明治29年には豊田・岡田・結城3郡が合併して結城郡となりました。当時は周辺に市がありませんでしたから、結城郡の範囲は現在の結城市、結城郡（八千代町・石下町・千代川村）、水海道市を含むとても広いものでした（3町24ヶ村）。

結城郡役所があつた坂下



大形村役場

役場庁舎の変遷

明治22年に誕生した大形村、宗道村、蚕飼村について少し紹介します。大形村は、古代・中世にあつた「大

は宗道河岸の繁栄をもとに政治・経済・文化の中心地となりました。国の出先機関である内務省宗道出張所、県の土木事務所、税務署、常陽銀行の前身となる五十銀行や宗道郵便局、組合立高等小学校などがありました。



宗道村役場

方郷」という地名から村名をとったといわれています。当初皆葉に村役場があつたようですが、大正期に別府に移転したようです。別府地区公民館の東側、消防小屋がある場所です。昭和29年に新庁舎建替えをし、千代川村合併後は大形支所となり、後に千代川村公民館大形分館として利用されました。



蚕飼村役場

蚕飼村の村名は、子飼川（小貝川）と養蚕がさかんだったことにちなんだものと考えられます。役場は現在の蚕飼小学校の敷地周辺にあつたようですが、のちに県道南側に移転したようです。千代川村合併後は蚕飼支所となり、現在も農協蚕飼支店として利用されています。

生きつづける千代川村

昭和30年1月1日に誕生した千代川村も51歳の誕生日に新下妻市となつて新たな歴史を刻んでいくことになりますが、新市になっても千代川に育まれた歴史や伝統はいつまでも生きつづけていくことでしょう。

誕生以来、村を代表して数々の施策を展開された初代永瀬安衛村長、2代鈴木周三村長、3代鈴木正行村長、4代永瀬純一村長、5代稲葉本治村長をはじめ、この地に生まれ育ち、またこの地に生活を営んだ、すべての村民の英知と弛みない結束がこのような素晴らしい51年間の千代川村を築き上げたものと思います。

ありがとう千代川村！（文化財係 ☎ 44・3141）



青龍楽校少年団

鬼怒川でサケ取り見学会

11月13日、青龍楽校（水辺の楽校）自然観察会の「サケ取り見学会」が開かれました。青龍楽校少年団員・宗道小学校4年生合わせて40人と保護者が参加し、大形橋下流のダム付近で刺し網漁を見学、サケが取りあげられるたびに大きな拍手を送っていました。子どもたちは、川原で生きたサケに触ってオスとメスの見分け方を教わったり、鬼怒小貝漁業協同組合の人がサケのおなかを割いて卵を取り出すと「ワァー、イクラだよ」と歓声をあげました。またこの日は、水産試験場の佐藤さんと河川事務所出張所の綿貫所長さんからサケやアユの生態についての話を聞き、しっかりと勉強も。このほか見学会開会前には、参加者全員で川原のゴミ拾いを行い河川美化にも一役かいました。最後に、取れたてのサケの切り身とイクラが配られ、初めての体験「サケ取り見学会」は、子どもたちに「川のふしぎ」を問いかけて無事終了。水辺の楽校では、今後川にかかわる自然観察会を続けていくことにしています。



なんでこんなにゴミが落ちているんだろう！



メスのサケのお腹は、タマゴが入っているからブニョブニョ！

法務大臣表彰

堀口日出子さん（本宗道）



熱心に活躍されている堀口さん

10月21日、第44回茨城県更生保護大会が神栖市文化センターにおいて開催されました。

その席上で、堀口日出子さん（本宗道）が法務大臣賞を受賞されました。堀口さんは、昭和58年11月より、保護司として、地域社会のなかでボランティアとして、犯罪を犯した人や非行に走った人たちの立ち直りの援助や、犯罪・非行の予防に関する相談に応じています。時には、母親代わりとしてやさしく、必要な助言・指導を行うなど、更生保護行政の重要な役割を担い、熱心にご活躍されております。その他にも、千代川村更生保護女性会会長として、積極的に活動しており、その功績はすばらしいものです。おめでとうございます。

新市の東の玄関口

（仮称）やすらぎの里公園が整備中
広域の交流拠点として
訪れ・魅力ある施設

（仮称）やすらぎの里公園は国道294号大園木交差点付近に計画され、昨年から整備が進められております。この公園は、広域や地域の交流拠点として、たくさんの人が訪れ、ふれあい魅力ある施設や機能の立地を図ることを目的に、2つのゾーンで構成されています。

「活性化支援ゾーン」は、各施設（建築物）を集約させるセンターゾーンとしての整備を図り、「交流支援ゾーン」は四季折々の花広場やわんぱく広場からなる公園ゾーンとしての整備をします。また、女性や親子連れをターゲットとし、訪れてきたみなさんを楽しませてくれる「癒しの空間」として、今後、産地直売所や加工施設またガーデンレストランなどが設けられる予定です。完成予定は、平成19年度です。



やすらぎの里完成予想図

ふれあいウォーク フェスティバル

小雨のなか元気に ウォーキング

10月29日、小雨のなか第4回ちよかわ・ふれあいウォークフェスティバルが行われました。この催しは、子どもから高齢者まで世代を超えて気軽に参加してもらい、それぞれの体調・体力に合ったコースを歩きながら世代間交流を図ること、あわせて体力づくりに関心を持つてもらうことを目的に実施されています。ウォーキングにはあいにくの天候となつてしまいましたが、参加した約400名のみなさんは、5kmのお達者



お友だちといっしょにウォーキング



小雨のなか一斉にスタート

コースと10kmの健脚コースとに別れ午前9時半に運動公園を出発、楽しそうに会話しながらほつとランド・きぬや無量院（皆葉）を経由して11時半頃までに全員元気に戻ってきました。ゴール後は、ふれあいハウス内に設けられた射的コーナーが盛況で、的を射ると大歓声が、外すたびに大爆笑がわきあがり、楽しい雰囲気のうちには終了となりました。スタッフのみなさん、ご苦労さまでした。

民生委員児童委員 協議会長賞受賞

常に村民の立場に立つて 相談に応じています



柴山芳夫さん（宗道）田中茂生さん（宗道）砂古武さん（宗道）

11月18日、県民文化センターにおいて、第24回茨城県民生委員児童委員大会が開催され、砂古武さん（宗道）柴山芳夫さん（宗道）田中茂生さん（宗道）が、茨城県民生委員児童委員協議会長賞を受賞されました。

受賞された民生委員さんは、常日頃から村民の立場に立つて困りごと・心配ごとなどの相談に応じ、必要な援助を行っており、社会福祉の増進に大きく貢献されていることが認められ、表彰されたものです。おめでとうございます。

青年海外協力隊員 派遣（JICA）

唐崎の市川圭司さん
バン格拉デシュに旅たち



“元氣に行ってらっしゃい”と村長もエール

唐崎の市川圭司さんが、青年海外協力隊員としてバン格拉デシュに派遣されることになりました。期間は12月1日から2年間で、現地小学校教員の授業力向上のための指導が主な任務になります。大学在学中から発展途上国の子どもたちの置かれている恵まれない教育環境に心を痛めていた市川さんは、協力隊員になれば自分の修得した知識がこうした子どもたちのために活かせるのではないかと、大学院卒業後迷わず応募されたということです。バン格拉デシュでは、理科の教員研修を担当しま

すが、実験を交えた授業の組み立て方などの指導をおし知識や応用力の優れた教員を養成することで、現地の子どもたちの勉学への意欲と学力が向上してくれればいいですね。就学率が少しでも上がってくればとも思います”と決意を語ってくれた市川さん。この広報紙がみなさんの手に届いた頃は、異国の地での彼の活動はすでに始まっています。市川さんの異国の子どもたちの教育にかける熱意は、現地の人々にも快く受け入れられるに違いありません。2年後には、大きな成果をお土産に元気に帰国されることでしょう。市川さんのような大志を抱く青年が、これからもこの地域から絶えず出てくれるといいですね。

さわやかマナーキャ ンペーン開かれる

きぬ保育所

11月15日、朝まで降り続いた雨は止んだものの、肌寒い天気のため、きぬ保育所園児88名が、おかあさんやおとうさんと一緒に手をつなぎ、保育所・緑地公園・運動公園周辺のゴミ拾いを行いました。

この事業は、学校・家庭・地域が連携し、豊かな心を持った子どもたち

を育成し、公共マナーの向上を図ることを目的に行われているものです。園児たちは、片手に大きなゴミ袋を持ち、“こんなに大きなゴミがあつたよ…”とおとうさんに言う”本当に大きなゴミが落ちているね。道路沿いに捨てられていると、みんなが困るよね。このゴミを犬や猫などが見つけては、食い散らかして周りがまた、汚くなっちゃうものね。みんなの手で、住んでいるところをきれいにすると、気持ちよく過ごすことが出来るんだよ”うん、ぼくは捨てないよ”との会話が聞こえてきました。小さなゴミまで拾っている子どもたちの懸命な姿が地域のみなさんへ届いて一人ひとりのマナーアップにつながって欲しいですね。ご苦労さまでした。



こんなにゴミがあったよ



ここにもゴミがあったよ！



おとうさんといっしょにゴミ拾い

菊花展・菊花展句 会表彰式

菊花展の部総合優勝は飯田康平さん
句会の部村長賞は小林紫水さんが受賞

ふれあいまつりに彩りを添えてくれた菊花展作品の表彰式が、11月21日中央公民館ホールで行われました。菊花展の部では、飯田康平さん（原）が4年連続で総合優勝、また菊花展句会の部では、小林紫水さん（唐崎）が最高位の村長賞を受賞されました。おめでとうございます。各賞の受賞者をご紹介します。



受賞されたみなさん、おめでとうございます

子ども会育成活動 功労者

飯塚昭一氏（別府）
茨城県知事感謝状受彰

11月19日、県民文化センターにおいて、茨城県子ども会育成連合会発足50周年記念大会が開催され、永年の子ども会育成活動に対し、千代川村子ども会育成連合会会長の飯塚昭一さんが茨城県知事感謝状を授与されました。飯塚さんは、昭和60年の地区子ども会会長就任を皮切りに、翌年村子連副会長に、63年には同会長に就任され、以来20余年にわたる育成・指導者としての功績が認められこの度の受賞となりました。おめでとうございます。

【菊花展の部】

賞	受賞者
茨城県知事賞	飯田 康平
茨城県議会議長賞	小島 常正
茨城県農林水産部長賞	大月 孝雄
村長賞	飯田 康平
議長賞	市川 やい
教 育 長 賞	羽田 和男
ダルマ優等首席	大月 せつ
切花優等首席	添野 藤太
競技花優等三席	山野辺一男
自由花優等三席	池田 博
自由花優等三席	大月 康次
自由花優等三席	植木 甲一
自由花管物三席	人見 登
努力賞	田沼才四郎
競 技 花 一 等	松田 好市
競 技 花 一 等	宇津野周夫
競 技 花 一 等	小倉 房夫
競 技 花 一 等	大月 詮雄
競 技 花 一 等	高瀬 録郎
競 技 花 一 等	木瀬 洋
競 技 花 一 等	斉藤 英次

【菊花展句会の部】

賞	受賞者
村長賞	小林 紫水
議長賞	浅野 悦子
教育長賞	安原百合子



受賞された飯塚昭一さん（別府）



宝くじの助成金で整備

軽可搬消防ポンプ と活動服が配備

宝くじの助成金で

平成17年度女性消防隊による安全で災害に強い地域づくり推進事業として、（財）日本消防協会より、”ちよかわ婦人防火クラブ”に、軽可搬消防ポンプと活動服等が配備されました。なお、本事業は宝くじの助成金で整備されたものです。

千代川村青少年相談員

氏 名	住 所
飯岡 甚	大 園 木
石野 正樹	原
根本益太郎	宗 道
市川 憲清	見 田
山田 行男	五 箇
中里 健一	村 岡
野村 至宏	鯨
荒川 伸彦	別 府
飯田 智	田 下
飯島 保	鎌 庭

問い合わせ

千代川村中央公民館 ☎44-3141（直通）



お気軽にご相談ください

青少年の育成に尽力されています
千代川村青少年相談員の根本益太郎さんと市川憲清さんが永年にわたる活動の功績が認められ、11月11日に茨城県知事褒賞を受賞されました。

千代川村では、青少年の健全な育成を推し進めるため、「青少年相談員」を設置し、青少年または保護者の方のいろいろな悩みや問題の相談に応じ、助言や関係機関と協力して問題解決の糸口になれるよう手助けを行っています。各地区に相談員がおりますのでひとりで悩まずお気軽にご相談ください。秘密は厳守いたします。

千代川村青少年相談員 茨城県知事褒賞を受賞

スポーツ少年団 大活躍

千代川柔道スポーツ少年団
宗道ニューモンキーズ（野球）

10月から11月に行われたスポーツ少年団大会で村内チームが大活躍、その結果をお知らせします。団員のみなさん、おめでとうございます。

第6回千代川杯少年柔道大会

10月23日、千代川村民体育館に近隣市町村17団体から37チームを招いて開催された大会で、千代川柔道スポーツ少年団A（飯村征貴、會田翔平、永瀬むさ志、篠山友和、山下雄大）が決勝戦で下妻柔道スポーツ少年団Aを破り優勝しました。同少年団は、日頃の熱心な稽古が実を結び、近年は、各大会で好成績を収めています。

第19回千代川村 近隣市町村学童軟式野球大会

11月13・20・23日の3日間にわたり本村3チームを含む23チームが参加して熱戦が繰り広げられた大会で、宗道ニューモンキーズが豊田ドラゴンズ（石下町）との接戦を制し感動的な優勝を果たしました。同チ



おめでとう！2年ぶりの快挙



熱心な稽古が実を結びました

ームには、2年ぶり4回目の優勝となりました。また、この大会最終日の準決勝・決勝戦では、蚕飼小学校の仲間が場内アナウンス役を進んで務めてくれるなど、例年に増して有意義な大会となりました。

さわやかリレー

～わたしからあなたへ～

vol. 263

前月登場の岡野清美さんからの紹介

絵本のある子育て

野村 律子 (鎌庭)



”ママ、今日はこの絵本ね“ 寝室へ向かう時、必ず子供達にこうせがまれる。ベッドのなかで、子ども達に一冊ずつ絵本を読むのが私の日課。

十年前、幼稚園に勤めていた頃に絵本との出会いがあり、その魅力に気がつきました。もともと私が本好きなこともあって、保育の中でも絵本や紙芝居を毎日一緒に楽しんでいました。

絵本はとても不思議です。読み始めると、一瞬にしてザワザワしていた教室の空気が一点に集中する感じ。きつと子どもの方が、パッと絵本の中の世界に入っていくてしまえるんだと思います。絵本を聞いてくれる時の真剣な表情は何とも言えません。この先どうなるんだろうと身を乗り出してきたり、ステキだな

あと目をキラキラ輝かせたり、にんまり笑っていたり：本当におもしろい。主人公になりきって、一緒に物語を展開していく。小さな感動体験“をしているんだと思うんです。この感動体験をたくさん積んでいる子は、やはりいろいろな事を考えることのできる表情の豊かな子になるのではないかと子供達から教えられました。たとえつまらなそうに聞いている

”もう一回読んで!“
が、充分楽しんでくれた合図なのだという事とも。

それから三年後に私も母親になりました。

”絵本の読み聞かせをすると言葉の習得が早いわよ“
なんてことを聞くと、夢中でやってみたくなるのが親心。打算から始まった読み聞かせでしたが、我が子もやはり同じ反応だったことに幼稚園での経験を思い出しました。そして純粹な気持ちで、私も一緒に絵本を楽しむことにしたのです。

現在では、五歳の娘と三歳の息子を連れ、週末必ず図書館へ行きます。夜読んでもらう本を選ぶ為です。ベッドの中では案の定、もう一回読んで!“の嵐に私の方の^{まぶた}瞼がくっついてしまふこともしばしば。とても本好きな子達になりました。

そんなつい先日、私の誕生日がありました。私の作ったケーキをペロリと平らげ、誰の誕生日なんだかなあと思っていた矢先、娘がプレゼントがあると言いました。手には絵本を持ってきます。そして、スラスラとはいきませんが一生懸命読んでくれました。一ページごとに弟は拍手をしています。最後まで読み終えると娘は

”いつも絵本を読んでくれてありがとう“

と言葉を添えてくれました。いつの間にこんなに読めるようになったのかという驚きと、優しい心が育っているんだなという嬉しい想いに感動して、涙がはらはらとこぼれました。そして、素敵な誕生日にしてくれた絵本に感謝しました。

これからも感動体験をどんどん積んで、親子共に成長していけたらと思っています。

健康法



出会いを楽しく

植木 和子（大園木）

わたしは、この家に嫁ぎ39年。家業の自動車鈑金業の仕事内容も知らずに来ましたが、不思議なもので、”門前の小僧習わぬお経…”のとおりに家業となると、驚くほど身につくものです。お客さまの連絡でレッカー車で現場に行き、来てくれて良かった”の一言に背中を押していただき、気がつく20年が過ぎていました。

この仕事にもだんだん慣れた頃、毎年欠かさず受けていた子宮がん検診で再検査の通知。

昭和62年に土浦協同病院で”子宮がんの診断”。頭の中は真っ白でした。だが、自分の命だ、即日手術することに決めました。34日間の入院生活のおかげさまで

私は、順調に回復しましたが、病棟内で励ましあった6名のうち4名は回復できませんでした。東村の方と私は、どんな事があっても4人の分まで元氣にならなければと、誓いました。

そして、健康を維持するために、食生活で病氣も予防ができるのなら、家族の健康のためにもと食生活改善推進員活動への参加を始めました。

みなさんと一緒に、栄養学を学び、まず自分の食生活を变えてみよう、朝食を重視してみました。朝5時半に起き、肉料理、魚料理、野菜と時間をかけ、豪華に大盛りはせず、少しずつ銘々皿に盛ります。食後は玉ねぎ茶か、バナナ牛乳。すると家族も自分の皿を残さず食べてくれるようになりました。

こうした食習慣の改善も食改活動のなかで会員みなさんとの実践活動に感謝しながら過ごしております。手術後19年、病氣らしい病氣は元より薬も飲むことがなく過ごしております。いくつになっても何事にも興味を持ち、声をかけられるとその気になって参加し、多くの人と出会いをし、思いがけない知識を得て、楽しみながら、自分はまだ必要とされていると思ひ、ストレス解消しながら、生きがいを持つて過ごすのがわたしの健康法と考えています。



ストレスを解消しながら過ごしています

豆知識



コンセント火災にご用心

”トラッキング現象”とは？

家庭内の洗濯機の裏などに長期間差し込まれたままのプラグ。そのままにしておくとホコリがたまってしまいます。そのホコリが湿気を含むと、プラグの両極間に微少の電気が流れる”電気の道”を形成することがあります。

この電気の道が徐々に加熱・炭化が進んでさらに大きくなるといき、その熱が限界を超えると発火してしまいます。この現象を”トラッキング現象”といいます。

トラッキング現象を防ぐには時々プラグをコン

”タコ足配線”

は火事のもと

”タコ足配線”とは、名前のとおりタコの足のようにコンセントや延長コードに口数以上のプラグを差し込んでいることです。しかしコンセントや延長コードには定格容量が決められています。この定格容量以上の電氣を使うと、発熱や発火をすることがあります。

市販の延長コードのコンセント部分などには定格容量が記載されているので、電氣機器の裏などの表示を確認して合計が延長コードの容量を超えないように使用してください。



俳句

樋びらき 平成十七年十一月抄

山峡に住めば都ぞ紅葉映え
松田 昭 (皆葉)

鬼怒岸に鯉の上りし小春かな
染野 清平 (皆葉)

秋深む湖面をわたり来る風も
小林 紫水 (唐崎)

秋草に夕陽が濡れてとどきけり
浅野 悦子 (鎌庭)

久に聞く筵織る音冬隣
安原 百合子 (鯨)

閑跡は石標ひとつ草紅葉
塚原 明子 (砂子)

散策の焦らぬ歩巾草紅葉
程山 静子 (砂子)

小春日や手押し車で友誘ふ
小竹 善文 (五箇)

竜神へ賽銭落とす紅葉晴
坂井 耕人 (五箇)

酔誘ふもみど舞ひ来る露天風呂
中島 みよし (皆葉)

人恋し唯人恋し秋しぐれ
齊藤 紫雲 (小島)

終戦もバブルも越えし小春かな
石塚 富男 (八千代)

煙草の輪ぶかりと浮きし小春かな
佐伯 六花 (八千代)

散りながら咲く山茶花や節の碑
石川 溪泉 (八千代)

手土産に竜胆の鉢そつとおく
荒井 ミヨ子 (八千代)

貧欲に陽を吸っている式部の実
荒川 すぎ (八千代)

枯草に動くともなく空を見る
浅野 悦子 (鎌庭)

枯蟬に秋深まりし
浅野 悦子 (鎌庭)

短歌

平成十七年十一月作品

飯泉 淑子 (原)

其処此処の周囲の森の深まり
にやわらかく移る秋を思いぬ

猪瀬 とき (田下)

朝霧の白く煙れる田の畦に白
鷺の二羽じつと動かず

小倉 房子 (宗道)

まだ枯れぬみどりの中に黄の
小菊灯火の如其処は明るし

小貫 よし (宗道)

安曇野の畑に鍬持つ子を思う
畝立てし跡も整然として

北沢 しづ (宗道)

娘ら二人、我を誘い鬼怒川の
温泉へと行く秋の日和に

小竹 昌子 (五箇)

露天湯にいくつかの紅葉舞い
込んで昼の光に輝いており

小竹 八重子 (五箇)

紅葉はまだと思いと車窓より
朱と黄の綾なし磐梯山を覆う

小林 美智雄 (唐崎)

五風また十雨と言えりいにしえ
のことばつしみ秋過ぎんとす

松田 正義 (原)

夜も更けて常総線の鈍き音、
平穩の今日安眠誘う

戸籍のインフォメーション

○おしあわせに

新 郎 藤木 友弘 鎌 庭
新 婦 松村ひとみ 八千代町
新 郎 畠山 智明 石下町
新 婦 増山 仁美 唐 崎
新 郎 中山新一郎 鎌 庭
新 婦 苅部 弘美 原
新 郎 根本 耕一 宗 道
新 婦 見村 幸江 水海道市

○おめでとうございます

中島 萌々音 [女] 大園木
保護者： 伸幸・美和
大森 琉矢 [男] 茨 田
保護者： 長七郎・由佳
塚越 楓 [男] 原
保護者： 恒希・夢江

○おくやみもうしあげます

坂本 吉藏 (80) 皆 葉
世帯主： 坂本 知恵子
生井 福藏 (90) 五 箇
世帯主： 生井 一郎
飯島 章 (75) 鎌 庭
世帯主： 飯島 晋
渡辺 友吉 (74) 鎌 庭
世帯主： 渡辺 邦夫
中山 信市 (88) 別 府
世帯主： 中山 隆
塚原 ふさ (91) 大園木
世帯主： 塚原 宏一
大島 武男 (89) 宗 道
世帯主： 大島 登男
羽子田 志津子 (94) 本宗道
世帯主： 羽子田 貢
田崎 三郎 (89) 宗 道
世帯主： 田崎 浩
浅野 喜代志 (78) 鎌 庭
世帯主： 浅野 清一
林 照夫 (76) 宗 道
世帯主： 林 芳明
塚本 みさを (77) 宗 道
世帯主： 塚本 勝美

むらのうごき

平成17年12月1日現在 世帯数・人口
世帯数 2,784世帯 (+ 5)
人 口 男 4,806人 (- 4)
女 4,694人 (+ 6)
計 9,500人 (+ 2)
() は前月比

1月の救急医療のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
1 ① 湖南病院	2 ① 友愛記念病院 ② 平間病院	3 ① 茨城西南医療センター ② 中岫産婦人科医院	4	5 ① 茨城西南医療センター	6	7 ① 茨城西南医療センター
8 ① 茨城西南医療センター ② 渡辺クリニック ③ 飯村歯科医院	9 ① 友愛記念病院 ② 木村外科内科医院 ③ 西町歯科医院	10 ① 茨城西南医療センター	11	12 ① 湖南病院	13	14 ① 友愛記念病院
15 ① 友愛記念病院 ② 鯨井内科 ③ 飯塚歯科医院	16 ① 友愛記念病院	17 ① 茨城西南医療センター	18	19 ① 茨城西南医療センター	20	21 ① 茨城西南医療センター
22 ① 茨城西南医療センター ② 砂沼湖畔クリニック ③ 中川歯科医院	23 ① 友愛記念病院	24 ① 茨城西南医療センター	25	26 ① 湖南病院	27	28 ① 茨城西南医療センター
29 ① 湖南病院 ② 宇津野医院 ③ 下妻中央歯科	30 ① 茨城西南医療センター	31 ① 茨城西南医療センター	① 茨城県緊急医療情報システム www.qq.pref.ibaraki.jp/ ② 小児救急輪番・病院群輪番 www11.ocn.ne.jp/~syoubou/index.html ③ 小児緊急パンフレット『子どもの救急ってどんなとき?』 www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/hoken/kodomobook.pdf			



○#8000（プッシュ回線の固定電話）

☎029-254-9900（プッシュ回線ではない固定電話、携帯電話・公衆電話）

○相談時間：月・火・水・木・金／午後6時30分～午後10時30分

☆休日夜間に診てくれる医療機関を知りたいときは…

☎029-241-4199（茨城県救急医療情報コントロールセンター）

① 小児救急医療輪番制

茨城西南医療センター（境町 2190 ☎ 0280-87-8111）

友愛記念病院（古河市関戸 726 ☎ 0280-98-3511）

湖南病院（下妻市長塚 48-1 ☎ 0296-44-2556）

対象年齢：15才未満

診療時間：月・火・木・土／午後6時～翌朝8時、日曜・祝祭日／午前8時～午後6時

※年末年始（12/29～1/3）は午前8時～午後6時

お願い

- ・緊急の場合以外は、通常の診療時間内に医療機関で診察を受けて下さい。
- ・保険証を必ず持参して下さい。
- ・対象となる診察は、内科診察です。

② 休日在宅当番医 診療時間：午前9時30分～午後4時

病院名	住 所	☎
平間病院	下妻市江 2051	43-5100
中岫産婦人科医院	// 下妻丁 148	44-2438
渡辺クリニック	// 本城町 1-44-2	43-7773
木村外科内科医院	// 下妻乙210-1	44-2527
鯨井内科	// 下妻丁 250-1	44-0088
砂沼湖畔クリニック	// 下木戸 542	43-8181
宇津野医院	// 下妻丁 373-15	45-0311

③ 歯科休日在宅当番医 診療時間：午前9時～11時30分

歯科医院名	住 所	☎
飯村歯科医院	下妻市下妻戊 443	43-6557
西町歯科医院	// 下妻乙123-1	43-6155
飯塚歯科医院	// 下妻丁 268	44-3830
中川歯科医院	// 下妻乙323-5	44-2765
下妻中央歯科	// 本宿町 1-21-2	43-6518

今月
の
納税

固定資産税（第4期）
国 保 税（第6期）

納期限 12月26日（月）

※納期内に忘れずに納めましょう

フィットネスパーク・きぬ (ほつとランド・きぬ) 休館日・イベントのお知らせ

年末年始の休館

12月29日(木)～平成18年1月3日(火)まで休館日となります。なお、多目的広場等も休園となります。また、1月4日(水)から通常営業になりますので、みなさまの深いご理解とご協力をお願いします。

2006 新年イベント

期 日 1月9日(月) 成人の日 午前11時から午後3時
※雨天の場合は、1月15日(日)に延期

内 容 【館外イベント】
A フレンドパーク2006(多目的グラウンド)
「5種類のスポーツゲームにチャレンジ！」
B 親子で挑戦!羽子板No.1決定戦
(芝生広場 午後1時から)

※1月4日(水)から受付開始し、先着20組
参加費 無料 (どなたでも参加できます)

【館内イベント】
C お正月遊びコーナー設置
参加費 無料 (どなたでも参加できますが、入館料はかかります)

その他 豚汁の無料配布 (数量200食限定)

【問い合わせ】

ほつとランド・きぬ
下妻市大字中居指1126
☎ 30-4126



災害〇をめざして

			村 内		下妻署管内	
			11 月	累 計	11 月	累 計
火 災	建 物		0 (0)	7 (5)	6 (2)	43 (5)
	車 輛	その他	0 (0)	3 (3)	3 (2)	35 (12)
	計		0 (0)	10 (8)	9 (4)	78 (17)
交 通 事 故	人 身 事 故	件 数	6 (3)	90 (20)	56 (17)	643 (-27)
		死 者	0 (0)	1 (0)	1 (0)	13 (5)
		傷 者	6 (3)	117 (25)	73 (21)	847 (-12)

11月24日現在 () 内は対前年比

編集デスク

いよいよ師走、お酒を飲む機会が増えて不規則な生活になりがちです。体調管理に心がけ、すがすがしい気分での新年を迎えたいものです。また、少しだから大丈夫とハンドルを握ると取り返しのつかない事態につながります。飲酒運転は、どんな理由があっても厳禁です。

さて、いよいよ年が明けると私たちも「新下妻市民」が発刊から395号を数える「広報ちよかわ」も合併により、今月号が最終号となります。この間に広報コンクールで賞をいただく機会にも恵まれ、広報担当者の研修会などでも高い評価をいただいてまいりました。これも偏に、取材に際していただいた村民のみなさまのご協力と、ご愛読くださった方々からの温かい励ましに支えられて編集できたからこそ、と感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、広報の仕事をおし村民のみなさまの温かい心を感じながら、千代川村の歴史の一端に触れることができたことをたいへんうれしく、今は誇りに思っています。来月

から「下妻市の広報紙」をお届けすることになります。が、「広報ちよかわ」同様ご愛読くださるようお願いいたします。一抹の寂しさも残りますが、千代川村のみなさまに心からお礼を申し上げるを置かせていただきます。長い間本当にありがとうございました。(T)

千代川村も残すところあと20日あまりです。最近では、毎年年末になると、今年はやかったなあと思いが、今年は冬の寒さや寂しさも重なり、振り返れば振り返る程、なんでこんなに早い1年だったのだろうと改めて感じています。今まで色々なイベントのときや、ふとしたときにみなさんにお会いして、とても気軽に声を掛けてくださったことや、写真を撮らせていただけたことなど、感謝の気持ちでいっぱいです。

この1年、千代川村として最後の〇〇との気持ちでイベントにも、その他の行事にも取り組んできましたが、やはりこの広報紙最終号はさらに格別の思い入れがありました。広報ちよかわ最終号「少しでもみなさんに楽しんでいただけたらと思います。(A)」



青背の魚・野菜・

きのこ・海藻で、

血液サラサラ人生を

送ろう！

青背の魚のごま焼き 里芋とえびのおろし煮

青背の魚のごま焼き

- 1 青背の魚は3枚におろして薄くそぎ切りにし、Aで下味をつけ、ごまをまぶす。
- 2 フッ素樹脂加工のフライパンを熱して両面を焼いて火を通し、器に盛る。
- 3 きのこと類は石づきを除いて食べやすく切り、Bをからめて耐熱性の器に入れ、電子レンジで4分弱加熱して冷ます。
- 4 ピーマンはせん切りにし、海藻は戻して水気を絞る。
- 5 2のきのこ類と3を合わせ、Cで味を調えて、1の魚と一緒に器に盛り付ける。(318kcal、塩分2.0g、コレステロール58mg)

材料 (4人分材料)

青背の魚(あじ・いわし・さば・さんま等) 75g×4切れ
(A) 酒 大さじ2、しょうゆ 大さじ1と1/3、ごま(白ごま大さじ6と黒ごま大さじ4を合わせたもの) サラダ油 適量
*付け合せ しめじ 200g
エリンギ 100g
(B) しょうゆ 大さじ1と1/3弱、酒 小さじ2
(C) レモン汁 大さじ2、オリーブ油 小さじ2、こしょう 少々、黄ピーマン 40g、海藻ミックス(乾燥) 6g

里芋とえびのおろし煮

- 1 里芋は皮をむいて水からゆでこぼし、水で洗う。えびは尾を残して殻をむき、背に切り込みを入れて背わたを取る。熱湯にさっと通してから水にとる。
- 2 生しいたけは軸を取り、笠の表面に切り込みを入れて半分に切る。みつばは適当な長さに切る。
- 3 なべにだし汁を煮立てて里芋を入れ、調味料を加えて弱火で柔らかくなるまで煮る。
- 4 3にえび、生しいたけを加えてさっと煮、さらにみつば、軽く水気を絞った大根おろしを加え、一煮立ちさせて仕上げる。おろしの絞りぐあいで味加減が違ってくるので、味を見て調える。
(1人分82kcal、塩分0.7g、コレステロール49mg)

材料 (4人分材料)

里芋 6個
えび 8尾
生しいたけ 4枚(85g)
みつば 1/2束
大根おろし <A> 1カップ
だし汁 2カップ
みりん 大さじ2
砂糖 小さじ1
淡口しょうゆ 小さじ1
酒 大さじ1
塩 小さじ1/2

ひとこと

師走の候となりました。この月は忙月ともいいます。年の瀬を控えてなにかとせわしない心を表しているようです。

冬至は太陽が1年中で最も南に偏り、日照時間が最も短くなる日です。この日、かぼちゃやこんにゃくを食べたり、薬湯とされる“ゆず湯”に入る習慣も、太陽の恵みが少なく、野菜不足になる時期に備えて健康を保つ上の生活の知恵であったと考えられます。食生活は昔に比べて豊かになりましたが、反面、栄養の大切さを軽視して欠食したりする人も増えているようです。野菜が不足していないか、砂糖や塩をとり過ぎていないか、もう一度、家族の食生活を見直してみよう。

広報ちよかわ12月号 平成17年12月10日発行 (No.395)

発行／千代川村

編集／千代川村企画課広報広聴係

茨城県結城郡千代川村大字鬼怒230番地

TEL 0296・43・5111 FAX 0296・44・6004

Eメール info@vill.chiyokawa.ibaraki.jp

ホームページ www.vill.chiyokawa.ibaraki.jp



広報ちよかわは環境にやさしい大豆油インキと古紙配合率100%再生紙を使用しています。